

大阪府立刀根山高等学校 蛍池ホタル復活プロジェクト 蛍池にもう一度，地域のホタルを！

- ① ホタルの保全
- ② ホタルに関する啓発
- ③ 蛍池周辺の生物調査

1

蛍池ホタル復活プロジェクト 蛍池にもう一度，地域のホタルを！

- ① ホタルの保全
- ② ホタルに関する啓発
- ③ 蛍池周辺の生物調査



2

1. ホタルの繁殖・保護活動

- ・ ゲンジボタル，ヘイケボタル
成虫が産卵した卵を1年間飼育
→ 翌年の観察会で展示(6月)
→ 展示水槽内で産卵(6月下旬)
→ 孵化した幼虫を回収(7月～)



3

1. ホタルの繁殖・保護活動

幼虫の飼育



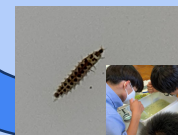
観察会



採卵



幼虫の回収



4

1. ホタルの繁殖・保護活動

・ヒメボタル

阪大豊中キャンパス内

ピットフォールトラップで捕獲
体長を計測後、保全地域で放流

捕獲数

2022年－124匹

2023年－6匹

2024年－33匹

2025年－18匹



5

2. ホタルの飼育

ホタルの一生(1年間)

卵 → 幼虫 (5～6回脱皮)

→ 蛹 → 成虫

※ 栄養不足で、1年で蛹にならない個体も

エサ

ヘイケ：サカマキガイ、カワニナ

ゲンジ：カワニナ

ゲンジボタル1匹に20～30匹のカワニナが必要とされる



6

3. 上陸セットの作成

上陸セット

幼虫から蛹になるために「水陸移行帯」が必要。

水槽内でホタルが蛹化できる環境をつくる。

⇒ 継代飼育を実現



国土技術政策総合研究所HP より



蛍池ホタル復活プロジェクト

蛍池にもう一度、地域のホタルを！

① ホタルの保全

② ホタルに関する啓発

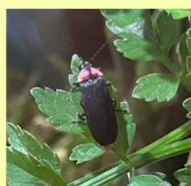
③ 蛍池周辺の生物調査



8

1. 小学校でのホタル観察会

近隣小学校4校で実施
(刀根山・螢池・箕輪・桜井谷)
ゲンジ・ヘイケの2種類
＋エサのカワニナを展示



小学生やその保護者の方に
ホタルについて解説

1. 小学校でのホタル観察会

参加者数

	箕輪小	螢池小	刀根山小	桜井谷小
2019	(記録無し)	--	--	--
2020・2021	新型コロナウイルス流行のため開催中止			
2022	238	122	234	--
2023	172	161	262	230
2024	193	171	428※	235
2025	183	148	149	250

※ 参加希望者多数のため2回実施

9

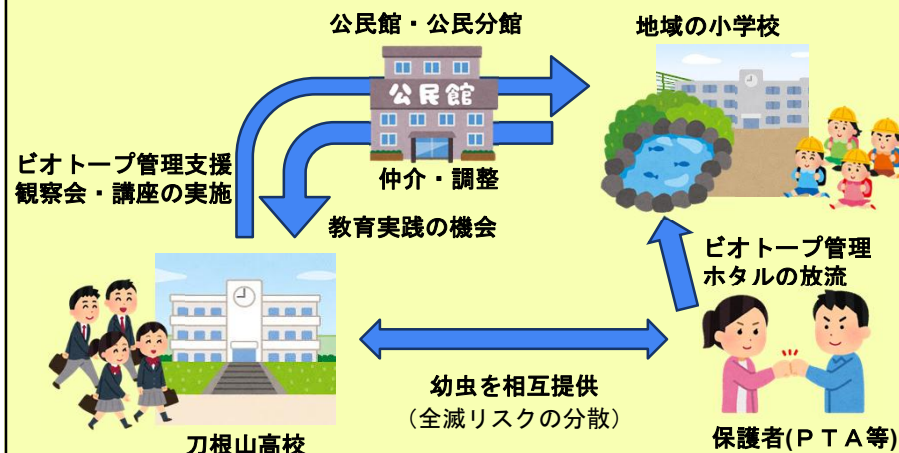
10

1. 小学校でのホタル観察会

刀根山小学校などで有志の**ホタルの里親**を募集
ヘイケボタルの2～3齢幼虫を預け、終齢幼虫まで育ててもらう。
育てたホタルは小学校ビオトープに放流する。



2. 地域・小学校との連携



11

12

2. 地域・小学校との連携

刀根山高校：高校生による啓発活動

地域の小学校：

保護者，教職員による活動支援
→ 児童への環境教育に繋がっている

地域の公民館・公民分館：

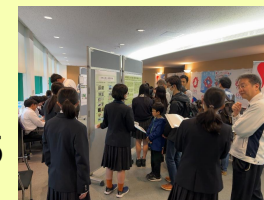
活動予定の調整，参加者募集など

13

3. 一般向けイベントでの活動発表

一般の方への情報発信

- ・ 2023年生物教育会 大阪大会
- ・ 産業総合技術研究所 関西センター 研究所公開 2024
- ・ いながわフェスタ2025・2026
- ・ トヨカツユースセッション2025



14

4. 他校との情報共有

- ・ ゼロカーボン2050実現に向けた
豊中市高校生環境会議
豊中高校と連携
高校生による「7つの提案」
→ 7項目めを策定
- ・ 大阪高校生徒生物研究発表会
府内の高校の生物系クラブが集合
活動や研究の情報交換
ホタル復活プロジェクトの紹介



15

蛍池ホタル復活プロジェクト

蛍池にもう一度，地域のホタルを！

- ① ホタルの保全
- ② ホタルに関する啓発
- ③ 蛍池周辺の生物調査



16

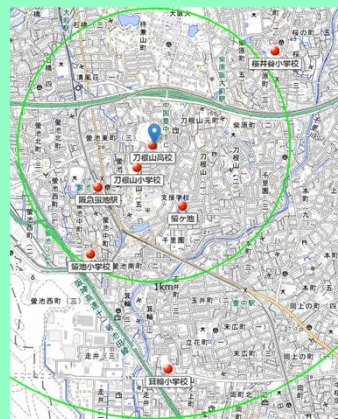
蛭池の地理的環境



刀根山高校の位置



広域図(緑の円は3km)



拡大図(緑の円は1km)

17

蛭池の地理的環境

余野川※～猪名川
ゲンジ・ヘイケ・
ヒメボタルの生息地
※猪名川の支流の1つ

千里川上～中流域
ゲンジボタルの生息地



待兼山
千里丘陵の西端
ヒメボタルの生息地
かつては刀根山と繋がっていた

蛭池地域
過去に3種とも生息が
確認されている。
現在確認できず、地域
絶滅したと考えられる

18

1. 細河地域の生物相

蛭池は猪名川と千里川に挟まれている

- もともと生息していたホタルは猪名川水系の個体群に近い遺伝子をもつはず
- 猪名川上流にある池田市細河地域のホタルを増やし、地域に定着させる



19

2. 千里川の生物相

千里川上流にはゲンジボタルが生息している

- 千里川中流域(箕輪地域周辺)の環境はゲンジボタルが生きていける環境か？



20

3. 校内林の生物相調査

刀根山にもヒメボタルが生息していたはず
現在の校内林はヒメボタルが生息可能か？

- 待兼山のヒメボタル個体群を移植
- 数年間は発生... 確認数は年々減少



21

プロジェクトの進捗と今後

ゲンジボタル

[進捗状況]

採卵→終齢幼虫までは飼育可能。
終齢幼虫を生息地に放流している。

[中間目標]

人口飼育下で安定して蛹化する条件を探る。

[最終目標]

千里川 箕輪地域への放流と定着。

22

プロジェクトの進捗と今後

ヘイケボタル

[進捗状況]

完全養殖が可能。
近隣小学校のビオトープへ放流・定着。

[中間目標]

ビオトープ内での自然繁殖率を高める。

[最終目標]

小学校ビオトープを起点とした生息地の拡大。

23

プロジェクトの進捗と今後

ヒメボタル

[進捗状況]

待兼山個体群の調査と保全。
刀根山高校の校内林へ試験的に放流し繁殖を確認。

[中間目標]

ヒメボタルを大量に飼育する方法の確立。

[最終目標]

校内林への本格的な放流と定着。

24